

## 0.1 降雨量手動入力（数値入力）モジュール

以下に、モジュールの仕様概要と操作手順を示す。

表.1 モジュールの仕様概要

No	項目	内容	
1	DLL 名	McManualRainfallInput.DLL	
2	概要	降雨量を手動で入力する。	
3	送受信のパターン	受信	なし
		送信	①降雨量 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：SCALOR_RAIN_FALL (mm/h) ②降雨量 伝送仕様：2次元時系列 セル内変数：SCALOR_RAIN_FALL (mm/h)
4	接続方法	受信	・接続はできません。
		送信	・要素接続は、1次元時系列、または2次元時系列で行い、降雨量が出力される。 ・上記以外の接続は、できません。
5	基礎式	なし	
6	備考		
7	サンプルプロジェクト	・降雨量手動入力（数値入力）モジュール（地上観測雨量）.prjdb （地上観測雨量入力サンプル） ・降雨量手動入力（数値入力）モジュール（レーダ雨量）.prjdb （レーダ雨量入力サンプル）	

(1) 降雨量（1次元時系列）パターンの場合

1) モデル接続

モデルの接続方法を、以下に示す。

①要素の配置を行い、下図に示すモジュールを設定する。

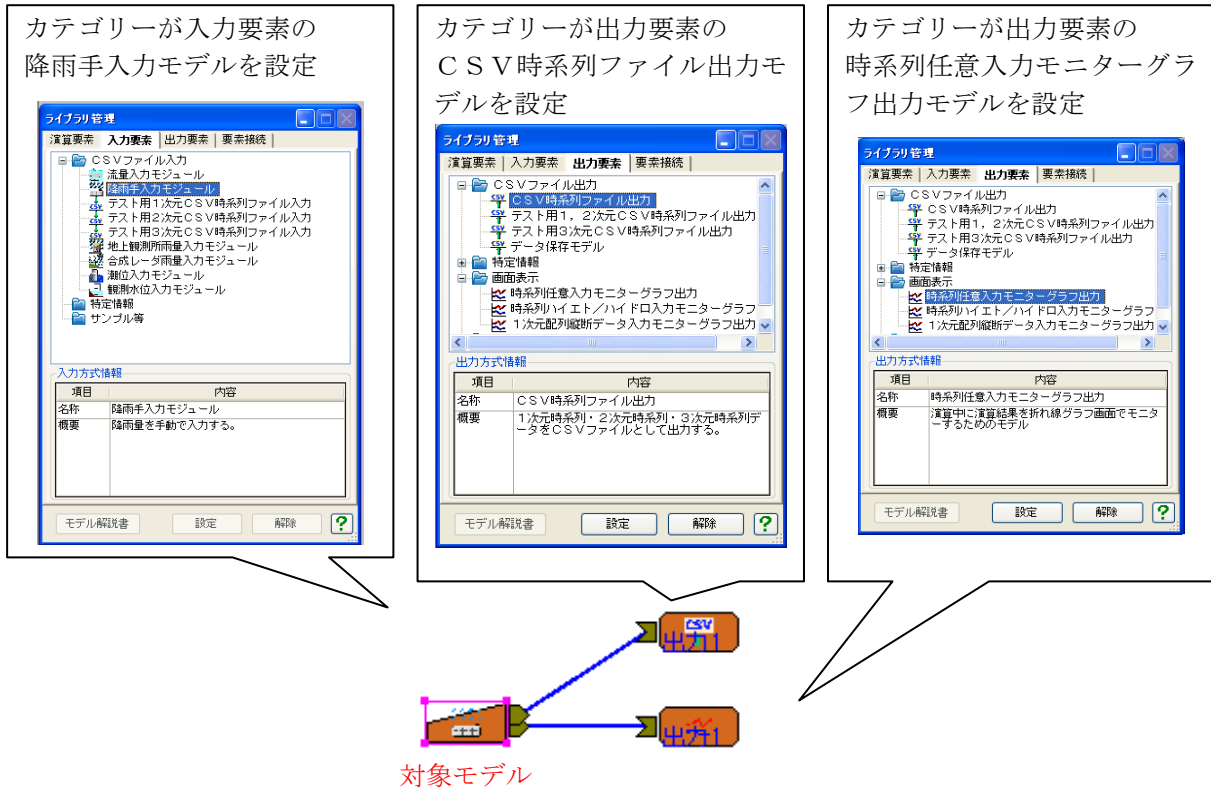


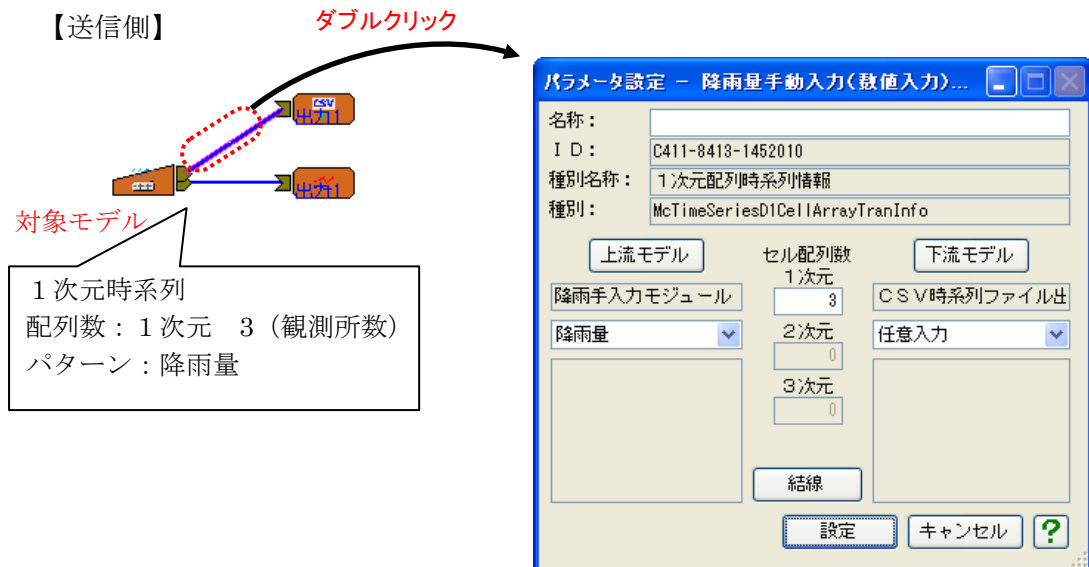
図.1 モデル接続

②要素接続は、以下の通り設定する。

【受信側】

なし

【送信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または  
右クリックメニューから表示を行う。

図.2 要素接続（送信側）

## 2) パラメータ設定画面

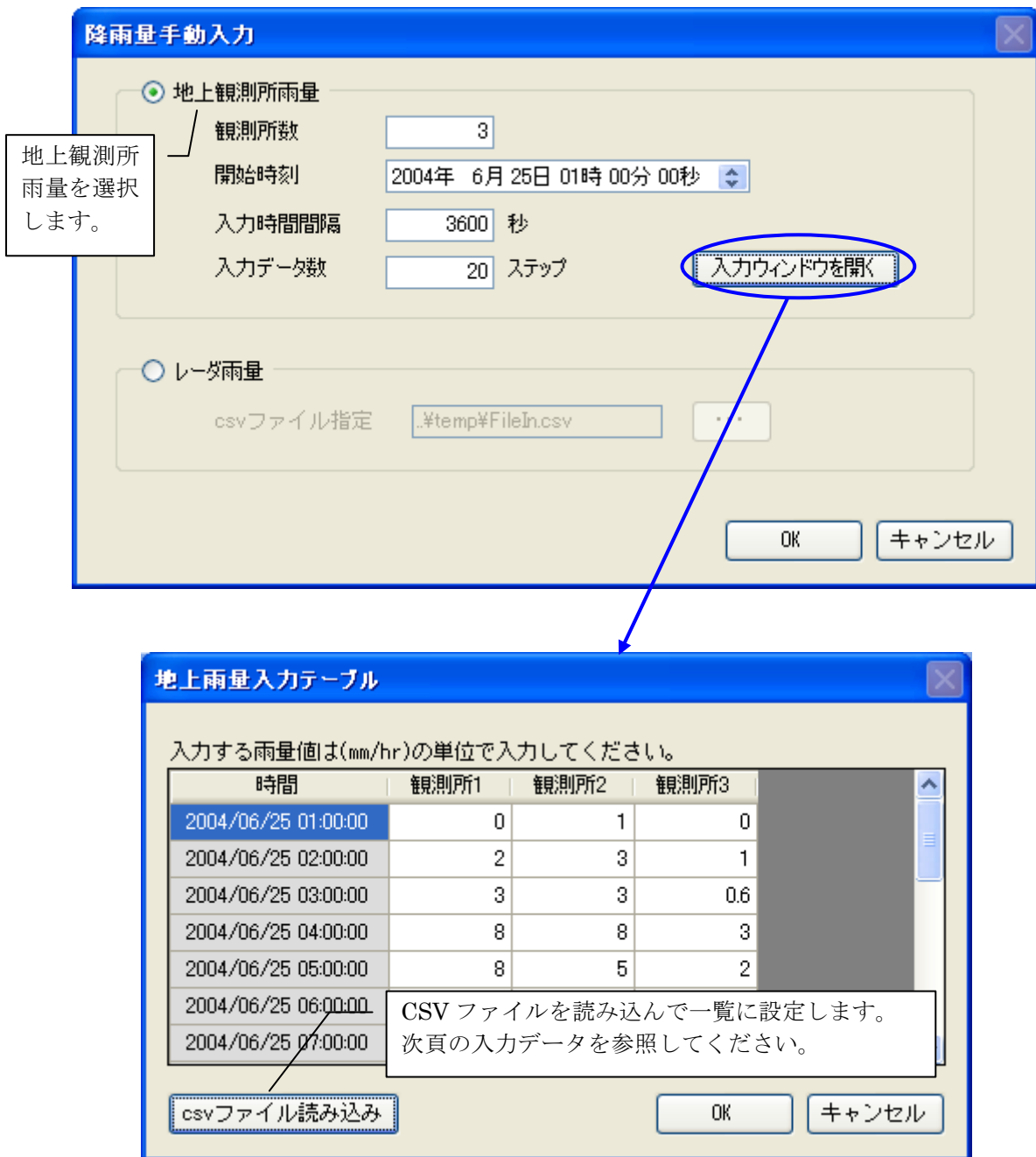


図.3 個別 GUI レイアウト図 (降雨量手動入力 (数値入力) モジュール)

### 3) 入力データ

以下のフォーマットの CSV ファイルを入力する。

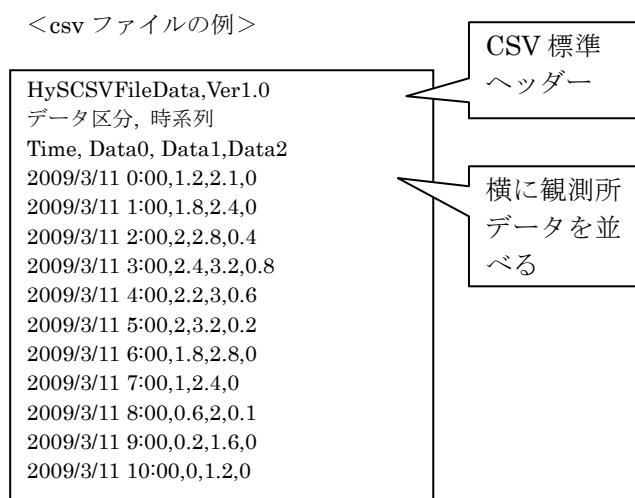


図.4 入力データフォーマット

### 4) 出力データ

1次元時系列の雨量データが出力される。

時間	観測所 1	観測所 2	観測所 3
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	雨量	雨量	雨量
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	:	:	:
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	:	:	:
:	:	:	:
:	:	:	:

図.5 伝送データイメージ

(2) 降雨量（2次元時系列）パターンの場合

1) モデル接続

モデルの接続方法を、以下に示す。

- ① 要素の配置を行い、下図に示すモジュールを設定する。

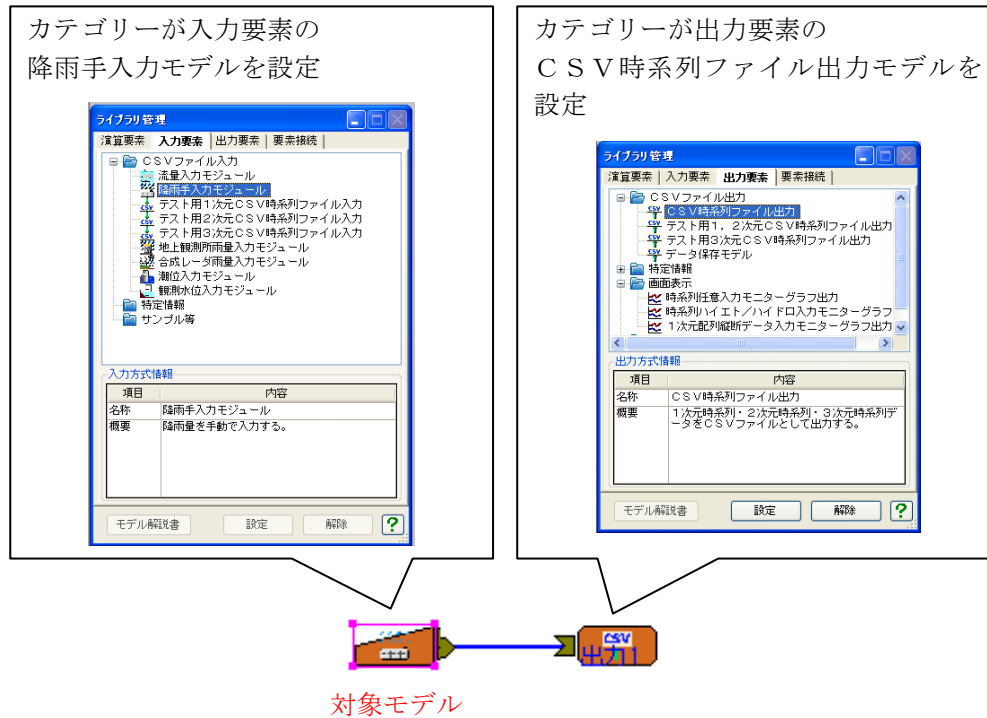


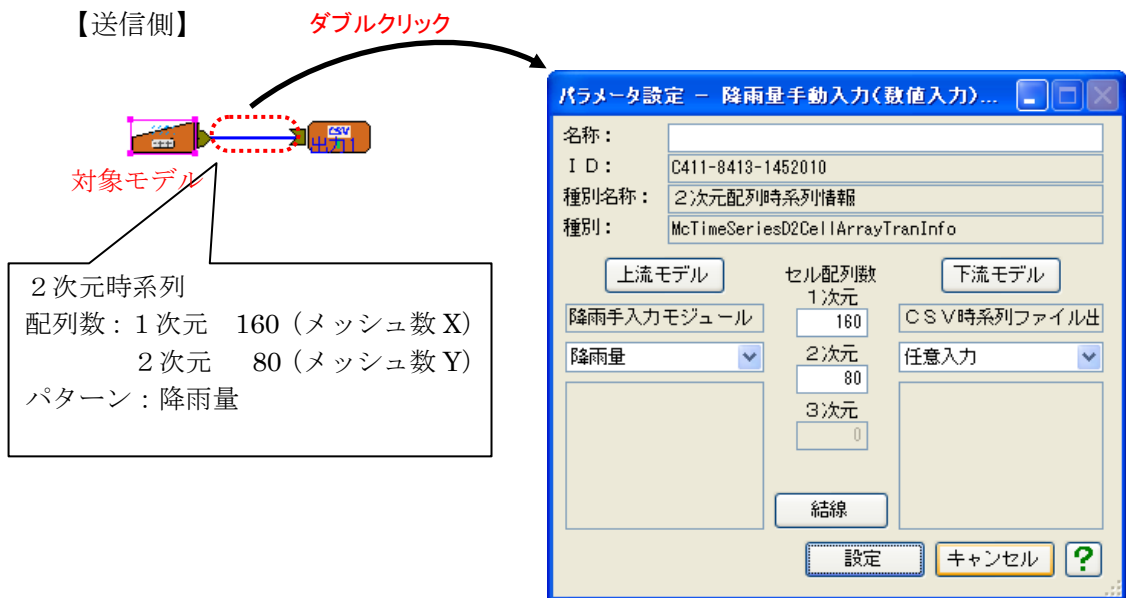
図.6 モデル接続

②要素接続は、以下の通り設定する。

【受信側】

なし

【送信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または  
右クリックメニューから表示を行う。

図.7 要素接続 (送信側)

## 2) パラメータ設定画面

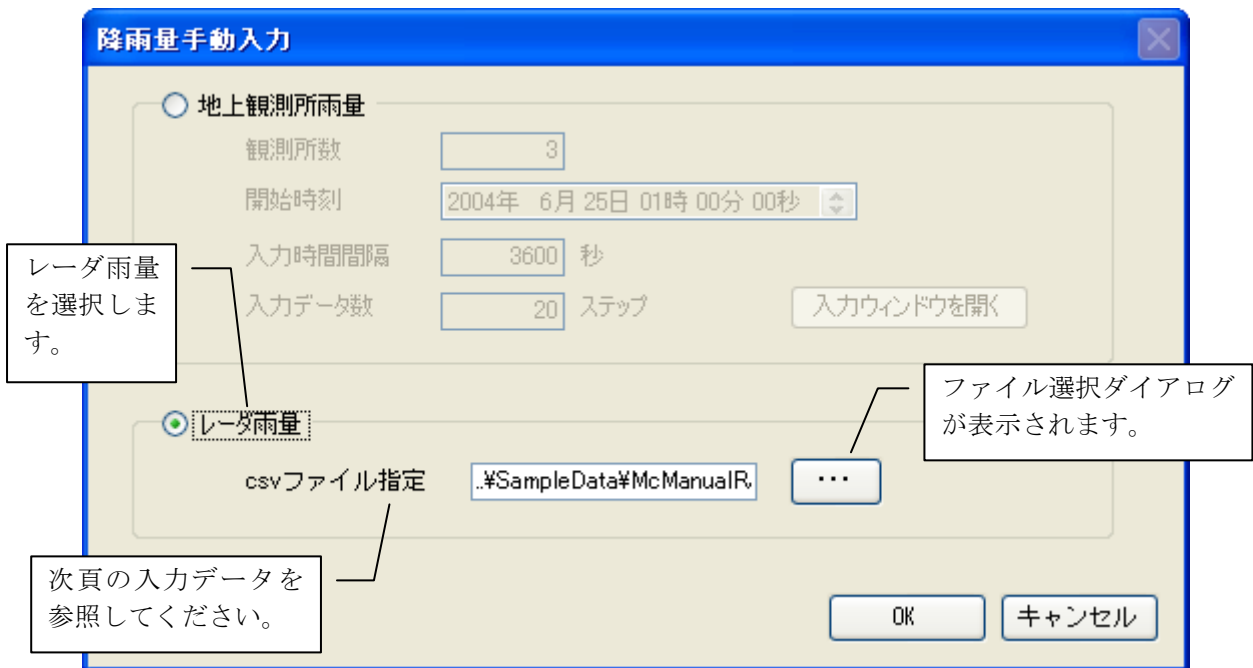


図.8 個別 GUI レイアウト図 (降雨量手動入力 (数値入力) モジュール)



